



5月の風景…部活動

この10連休の間に校庭の木々もすっかり若葉に覆われ、新緑が目には鮮やかな季節となりました。今月から元号も平成から「令和」となり、学校はまた子供たちの声で溢れています。

各部活動の春季大会は4月上旬から始まっていますが、この連休中も、多くの部が試合を行いました。卓球部は女子が団体優勝し、男子も3位となって男女とも県大会に出場しました。また、ソフトボール部とサッカー部もこの連休中に決勝トーナメントを勝ち進んで優勝しています。この他に各種目の個人での入賞者も多数います。今回、惜しくも入賞には至らなかった部も、すでに次の試合に向けて練習に励んでいます。これから春季大会や記録会を迎える部もあり、6月上旬までは毎週どこかの部が試合を行っています。また、文化系の部では発表会やコンクールに向けて、練習や作品の制作等の活動が続いています。

今週からは今まで仮入部だった1年生も正式入部となり、1年生から3年生まで、全学年そろっての活動が始まりました。練習に参加している1年生の姿はまだ小さく、頼りなさげではありますが、どの部を見てもみんな元気いっぱい活動しています。

とは言え、今週入部届を出すまでの間、かなり悩んだ生徒もいたのではないかと思います。部活動については、加入するかしないかも、どの部に入部するかも、すべて自分で決めます。誰かの助言や影響はあるかもしれませんが、最終的には子供たちが自分自身で決定します。自分自身が決めて始めたことは、やはり頑張りたい…。子供たちは程度に差はあるものの、みんなそう思っていると思います。だからこそ、この部で自分は三年間頑張れるだろうか、と考えて思い悩んだはずです。全校生徒が1000人を超える本校は、一つの部の部員数が100人近い部もあります。ですから、なおさら生徒一人ひとりがしっかりと意識を持って活動していく必要があるのです。その際大切なのは、自分自身の「思い」です。周囲の流れのままに入部を決めてしまったり、誰かに言われるがまま何となく入部してしまったりした場合、ちょっとしたつまずきでも耐えられない可能性があります。大切なのは「この部活動でこういう自分になりたい、こういう未来を築きたい」という「思い」です。そのために一番必要なのが、「自分で決める」ということなのです。正式入部までの期間に、悩んだり迷ったりしたことは決して無駄なことではありません。

そして、下級生がいるからこそ、上級生としての自覚も生まれます。1年生が正式に入部したことで、2・3年生の部活動に取り組む意識も変わってくるものです。前号で紹介した3年生が4月に書いた作文で「悔いのないように頑張りたい」という内容がありましたが、2年生の作文で多かったのが「今年は先輩としてしっかり頑張りたい」という内容でした。

子供たちは、これから試行錯誤を繰り返し、多くの体験を積み重ねながら、一步一步成長していきます。1年生は1年生の、2年生は2年生の、3年生は3年生のそれぞれの成長を保護者の皆様とともに、しっかりと見届けていきたいと思えます。